

広報  
[なか]

# NAKA

2019 秋号 VOL.171



公益社団法人 名古屋中法人会



DIARY 2019～2020	1
署長インタビュー	2
名古屋中税務署長 村田 知英子氏	
名古屋のものづくり	6
福花園種苗西軽井沢農園	
福花園種苗(株) 取締役社長 吉田 豊氏	
社長室長 吉田 俊大氏	
季節を楽しむ和菓子の魅力	11
お時間拝借	12
栗葉匠 和泉 代表者 伊藤 幸彦氏	
《健やかサークル》	16
たらこ	
《ものづくり愛知の至宝》	
松坂屋コレクション 扇散らし模様打敷	
《社長のやる気サポート》	
市内法人会合同講演	
NHK大相撲解説者 舞の海 秀平氏	18
日経景気討論会・軽減税率研修会	22
令和元年度税制改正研修会・やさしい法人税セミナー	24
理事懇談会・税務署への挨拶・退職者送別会	25
《ダカラオモシロイNAKA》	
名古屋ニコニコランド2019・ヤングジャズフェスティバル	26
広小路夏まつり昇龍みこし	30
夏休み親子で税を学ぶ・NAKAビアフェス2019	31
青年部会ボウリング大会・絵はがきコンクール作品審査	32
法人会全国大会・支部事業	32
《会員サロン》・新入会員	34
《行事メモ》・事務局お知らせ	41



表紙の写真

名古屋中法人会 OS☆Uと大須で  
「消費税軽減税率研修会」の案内周知イベント出発式

日時/令和元年9月2日(月) 11:30・13:30

会場/大須、萬松寺通商店街入口 主催/公益社団法人名古屋中法人会

共催/名古屋中税務署 出演/アイドルグループOS☆U

名古屋中法人会大須支部は小規模な飲食・小売業が密集する中区の大須商店街で、10月からの消費税増税と軽減税率に向けて、店主・事業者らにレジの改修の準備と名古屋中法人会主催の消費税軽減税率研修会への参加を呼びかけた。

■大須を拠点に活動するアイドルグループOS☆U  
平成22年(2010)8月誕生 Osu Super Idor Unit「OS☆U」(オーエスユー)  
アイドル・アニメ・オタク文化が集結する若者文化発信の地「大須」。  
その大須から「にぎわい創出!超絶元気発信!」をコンセプトに誕生。



# DIARY 2019 - 2020

nov. 11

7木 女性部会 署長講演会  
講師：名古屋中税務署長  
村田 知英子氏  
ホテルオークラ 11:00

第33回全国青年の集い・大分大会  
IICHICO総合文化センター

9土 名古屋中税務連絡協議会  
「暮らしの中の税金展」  
税の作品表彰式  
三井住友SMBCパーク栄



2018年11月9日

11月~17日 税を考える週間

13水 令和元年度名古屋中税務署納税表彰式  
KKRホテル名古屋 10:30

愛知県法人会連合会・税制講演会  
講師：名古屋国税局課税第二部法人課  
税課課長補佐 塚本 修氏  
一般社団法人愛知県法人会連合会  
税制委員長 鈴木 幹雄氏  
ANAクラウンプラザホテル  
グランコート 14:00

17日 第22回「中法人会TAX杯」  
ミニサッカー大会  
パロマ瑞穂スポーツパーク  
北陸上競技場



2018年11月17日

20水 決算期別研修会(10~12月期)  
講師：名古屋中税務署担当官  
昭和ビル9階ホール 13:30

dec. 12

2月 平和支部事業  
平和学区総合パトロール  
「クリーンキャンペーンなごや」

10火 社会貢献事業  
「みんなに笑顔を  
クラウンがやってきた」  
クラウンを幼稚園へ派遣  
旭キナー幼稚園



2018年12月10日

2020 1  
jan.

23木 新春賀詞交歓会&記念講演会  
講師：名古屋中税務署長  
村田 知英子氏  
ローズコートホテル 18:30

feb. 2

5水 決算期別研修会(1、2月期)  
昭和ビル9Fホール

13木 市内9法人会合同講演会  
講師：外交政策研究所代表・  
立命館大学客員教授  
宮家 邦彦氏  
「激動する国際情勢と  
今後の日本の対応」  
日本特殊陶業文化会館 13:30



19水 大規模法人経営者講演会  
講師：名古屋国税局長  
小原 昇氏  
ホテルナゴヤキャッスル 15:30

25火 常任理事会  
昭和ビル9F会議室 15:00

mar. 3

8日 第74回・東海法連名古屋大会  
法人会運営研究発表会  
ホテルナゴヤキャッスル 13:30

9月 理事会  
昭和ビル9Fホール 15:00

26木 常任理事会  
昭和ビル9F会議室 15:00

apr. 4

2木 3金 6月 7火  
新入社員研修

21火 理事会  
昭和ビル9Fホール 15:00

may. 5

26火 第9回通常総会

## ■プロフィール

生年月日 昭和34年9月16日

出身地 岐阜県羽島市

昭和57年4月 名古屋国税局 総務部 総務課  
昭和57年6月 岐阜北税務署 法人課税・源泉所得税部門  
平成16年7月 名古屋国税局 課税第二部 法人課税課 実務指導専門官  
平成20年7月 静岡税務署 副署長  
平成22年7月 半田税務署 副署長  
平成23年7月 税務大学校 名古屋研修所 主任教育官  
平成25年7月 名古屋国税局 総務部 企画課長  
平成27年7月 大垣税務署長  
平成28年7月 名古屋国税局 調査部 調査開発課長  
平成29年7月 名古屋国税局 総務部 会計課長  
平成30年7月 名古屋国税局 総務部 次長  
令和元年7月 現職



## 一隅を照らす

### 誠実な人間として信頼されるように

——署内の雰囲気と赴任に当たった抱負をお聞かせください。

名古屋中税務署は、名古屋国税局管内の48税務署のうち、最も職員数が多い税務署で、現在、約270名の職員が在籍しております。モチベーションの高い職員が多いほか、若手職員も多く、活気がある署だと思います。職員の持つ能力を最大限に発揮できるよう「明るく風通しの良い職場環境」の醸成を心がけています。

多くの職員が在籍していますが、他の税務署に出張して仕事をしている者も多く、全員が揃って仕事をすることはありません。そこで、名古屋中税務署の職員として、「仕事は、明るく、楽しく、前向きに！一緒に頑張りましょう！」という共通のスローガンを作って、職員に「一緒に仕事を頑張りましょう。」と伝えています。

税務署の使命である、「適正公平な課税の実現と納税の確保」を果たすために、全力を挙げて取り組んでまいります。

具体的には、納税者の皆様の権利・利益の保護を図りつつ、正直者がバカを見ることのないよう、大口・悪質な不正事案には組織的に厳正な対応をしてまいります。

また、申告しなければいけないことを知らなかったということを含めて、無申告事案への対応もしっかりやっていきたいと考えています。

税務署の仕事は、納税者の方々からの信頼がなければできない仕事です。そのため、法令遵守や適切な事務処理はもちろんですが、一つ一つの仕事に誠実に取り組み、納税者の方々の意見や要望をよく聞いて血の通った税務行政をすすめたいと考えています。

職員には、税務という厳しい仕事だからこそチームワークを大切にして、税務職員である前に、一人の人間として、倫理観を持った誠実な人間として外部の納税者の方々からも内部の職員からも信頼される税務職員になってほしいと伝えました。

また、本年10月の消費税率の引き上げと軽減税率制度の



親子で税を学ぼう 令和元年7月25日 署長室



NAKAピアフェス2019 令和元年8月2日 錦三丁目東本重町通り



第68回広小路夏まつり 令和元年8月17日 朝日神社

名古屋中税務署長

村田 知英子 氏





実施が近づいてまいりました。制度の円滑な実施に向けて、説明会の開催や個別相談への対応など、あらゆる機会を捉えて、制度の周知・広報に取り組んでいるところです。

今後は、説明会の内容を基礎的なものから区分経理や申告書の作成指導など実践的な項目を含んだものにするなど制度の円滑な実施と定着に向けて取り組んでまいります。

——名古屋中税務署初の女性署長とお聞きしております。

私にとって名古屋中税務署での勤務は、平成5年から平成7年まで法人審理担当の調査官として勤務して以来となります。当時の法人一統括が名古屋中法人会前専務理事の清水正彌さんで、様々なご指導をいただきました。審理の仕事は初めてでしたので、勉強することも多く、大変忙しかったのですが、忙しい中にも楽しかったことが思い出されます。こうした思い出深い署で、署長として仕事ができますことを大変光榮に存じております。また、名古屋中法人会の皆様とお会いできることも楽しみにしています。

名古屋中税務署初の女性署長と言っただけですが、たまたま時代の要請する所にいたということで運が良かったと思っています。これまで働き続けることができたのは、夫をはじめ家族の理解と協力とともに、共に働く職場の仲間を支えて貰ったおかげだと感じています。本当に周りに恵まれました。これまでの多くの人との出会いに感謝しています。

## 男女を問わず仲間として 仕事に取り組む

——村田署長がお入りになられたころの女性職員の環境等と比べて、現在はいかがですか。

私が採用された当時は、同期約70名のうち女性職員は2名と少なかったのですが、その後、職場環境の整備が進み、沢山の女性職員が活躍する職場になりました。

現在、名古屋中税務署の約270名の職員のうち約20%の54名が女性職員です。名古屋局の採用ベースでは30%以上が女性職員ですし、今後も女性職員は増えていくことと思います。

女性職員に対してというわけではありませんが、若い職

員には、男性・女性を問わず同じ税務署で共に働く仲間として、切磋琢磨して頑張る仕事に取り組んでほしいと思っています。仕事をしていく上では、辛いことや苦しい時もあると思いますが、仕事を続けていけば面白いことや楽しいことがきっと見つかるし、仕事があるからこそ乗り越えられることもあります。色々なことを乗り越えて頑張ってもらいたいと応援しています。

——法人課税や官房系統など幅広い分野の要職を経てこられました。これまでのお仕事について印象的なお仕事や出来事をお聞かせください。

私が採用された昭和57年は、男女雇用機会均等法の施行以前で、税務署はいわゆる男性の職場で女性が調査を担当するという時代ではありませんでした。当時の副署長には、女性の調査官が誕生するのはあなたが辞める頃かなと言われて、先輩に悔しいと愚痴っていましたら、その先輩から、「愚痴を言うよりいつ調査担当になっても勝負できるように準備しておきなさい。」と教えられました。その後、強く調査担当を希望して名古屋局で女性初の法人調査担当になりました。厳しい仕事でしたが、自分なりに楽しみを見つけて調査担当を続けました。

平成元年に息子が生まれた時は、育児休業制度もありませんでしたので、産後休暇後は直ぐに法人調査担当として仕事に復帰しました。当時は、仕事と子育てで毎日が慌しく綱渡りのような生活でしたが、大変だった事も後になれば良い経験です。今になって振り返りますと、法人の調査担当を続けたことが、その後の様々な仕事の基礎になったと考えています。

税務の仕事は、納税者の方々と深く関わりを持ち、経営に関することや商取引の現状など様々なお話を聞く機会に恵まれています。上司・先輩から教えられたことも多くありますが、納税者の方々の経験に裏打ちされたお話が、私の生き方を形成してくれたように思います。税務の職場だったからこそ私が成長するための多くの糧を得ることができたと思っています。

また、最近では、国税局の総務部や調査部などで様々な仕事をいたしました。そこでは、国税局としての判断や税務



署への指示など幅広い仕事を経験させてもらうことで、広い視野や深い思考などが多少なりともできるようになったのではないかと考えています。こうした部署での勤務経験によって得られたものは非常に大きかったと感じています。

## 社会人としての自覚と 基礎的な知識の習得

——税務大学校の名古屋研修所で主任教育官をされています。どのようなことをされていたのですか。

税務大学校名古屋研修所は名古屋市緑区にあり、税務職員として新規に採用された職員の基礎的な研修や税務署で働く職員を対象にした税法研修等を行っています。

私が勤務していた当時は、税務職員採用試験に合格して採用された職員（研修生）を対象に、社会人としての良識及び公務員としての自覚を身につけさせるとともに、税務職員として必要な簿記や税法の基礎的な知識を習得させるための研修を行っていました。研修を効率的に実施するため、名古屋国税局採用職員以外にも金沢局、広島局、福岡局、熊本局採用職員を名古屋研修所に集めて研修を行っていました。

主任教育官の仕事は、税法を研修生に教えるという時間もありましたが、研修内容のチェックや教育官の取りまとめのほか、寮生活をしている職員（研修生）の生活指導も行いました。

——10月から消費税が10%になります。軽減税率制度への対応などについてお聞かせください。

10月に予定されている消費税率の引上げと軽減税率制度の実施がいよいよ近づいてまいりました。事業者の皆様が準備を円滑に進めることができるよう、説明会の開催や個別相談への対応など、あらゆる機会を捉えて、制度の周知・広報や相談に局・署をあげて取り組んでいるところです。

国税庁では、国税庁のホームページに、軽減税率制度に関する情報を「特設サイト」に掲載して情報提供するほか、全国約850万の事業者、名古屋局管内では約95万の事業者に対して制度の概要から区分経理や申告書の作成方法まで記

載した実践的な内容のパンフレット（経理・申告ガイド）を送付して制度の周知・広報に努めています。

また、軽減税率制度に関する一般のご質問やご相談については、フリーダイヤルの「消費税軽減税率電話相談センター（軽減コールセンター）」で受け付けています。今年の9月及び10月は土曜日も受付を行っておりますので、お気軽にご利用をお願いします。

名古屋中税務署での「軽減税率制度に関する説明会」については、12月まで毎月2回開催する予定ですし、窓口でのご相談にも対応しておりますが、税務署での面接による個別相談（関係書類等により謄的な事実等を確認させていただく必要のある相談）を希望される方は、あらかじめ電話により面接日時等を予約していただくこととしていますので、ご協力をお願いします。

——生まれはどちらですか。子どものころはどんなお子さんでしたか。

岐阜県羽島市の出身で、現在は岐阜市に住んでいます。子どものころは、友達と元気よく遊んでいました。放課後になると、自転車に乗って友達とどこまでも遊びに行っていました。両親や先生から、「落ち着きがない」とよく注意されるようなお転婆娘だったと思います。

小学生から中学まで「珠算（そろばん）」を習っていました。「そろばん」という道具を使わなくても良い暗算が好きで、当時は多少の自信もありましたが、今では、懇親会の会計時に精算を担当するくらいしか役に立っていません。

## 社会・経済に密接に関わる 仕事に就きたい

——この道を選ばれたきっかけを教えてください。

何かの形で、社会・経済に密接に関わる仕事に就きたいと考えていたところ、女性にも国税専門官の採用門戸が開かれたことを知り、具体的な仕事の内容も知らずに挑戦しました。不合格でもいいという軽い気持ちで受験しましたが、合格したら父親が大変喜んでくれましたので、就職を決めました。





就職した時には、まさか定年まで働くとは考えていませんでしたが、税務の仕事が性格に合っていたのか、これまで自分なりの楽しみを見つけて楽しく勤めることができました。

#### ——信条や大切にしている言葉はございますか。

信条とか大切にしている言葉とかは、特にはありませんが、如果说、「一隅を照らす」という言葉が好きです。今、自分がいるこの場所や立場を大切に、ベストを尽くして精一杯頑張れば、結果的に全体を良くすることにつながるという意味だと思っています。

#### ——趣味・ご家族・休日の過ごし方などについてお聞かせください。

趣味というほどのものはありませんが、休日は、住まいのある岐阜市の金華山に登ったりして運動不足の解消に努めています。若い頃は高い山にもチャレンジしていましたが、最近は、金華山程度の気軽に登れる山に登り、爽やかに気持ちのいい時間を過ごしています。

家族は、一人息子が独立しましたので、夫と二人で、ひそやかに暮らしています。

## 事業活動をできるだけサポート

——当会経営研究会が主催した社会貢献事業「夏休み親子で税を学ぼう」では、署長自ら署長室見学説明や「租税教室修了証」の交付をしていただき、参加した子供たちも大変喜んでおりました。

名古屋中法人会経営研究会の主催行事「夏休み親子で税を学ぼう」では、沢山の子供たちが税務署に来てくれ、署長室で記念写真を撮り、税金クイズで税について学んでくれました。私も直接、子供たちに修了証を渡したり、保護者の方々に名古屋中法人会について話をさせていただきました。

中日新聞が行事の様子をカラー写真付の記事にしてくれましたので、名古屋中法人会の広報効果もあったかなと思っています。

また、8月には「錦三 夏まつり ビアフレス」や「広小

路夏まつり なごや昇竜みこし」にも参加させていただきました。いずれも名古屋中法人会と中区の町内会との共催というところが、法人会という枠を超えて、地域と密接に繋がった名古屋中法人会ならではの大変素晴らしい社会貢献事業だと感じました。

中区という街において、名古屋中法人会の果たす役割が大変に重要な地位を占めているということを実感いたしました。担当されました皆さんの企画段階から準備作業、打合わせ等々、本番当日までの様々なご苦労を思うと、私どもでは到底真似のできない事業だと思いました。

今後も、名古屋中法人会の多彩な事業を見せていただくことを大変楽しみにしておりますし、私も積極的に参加させていただきたいと思っています。法人会活動を通じて、法人会の皆様との相互の信頼・協力関係を一層強くしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### ——名古屋中法人会の活動について「エール」をいただければありがたいです。

名古屋中法人会は、公益社団法人として納税意識の高揚の啓発並びに地域社会への貢献活動など充実した事業を展開され、名古屋国税局管内の法人会の中でもトップクラスの事業内容を誇り、名古屋局の法人会全体をリードしていただいている存在だと認識しています。

名古屋中法人会の皆様方には、税務行政のよき理解者として、ひとかたならぬお世話になり、心から感謝するとともに誠に頭の下がる思いで一杯です。私どもといたしましても、法人会の活動が一層充実したものとなるよう、引き続き、皆様方の事業活動をできる限りサポートしていきたく考えておりますので、どうぞよろしく願います。

名古屋中法人会は、税務行政の円滑な遂行にとって、なくてはならない存在であると認識しておりますので、今後とも、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

——こちらこそご協力をお願いいたします。今日はお忙しいところ、ありがとうございました。



## いまが出发点

福花園種苗西軽井沢農園

福花園種苗株式会社 取締役社長

社長室長

吉田 吉田  
俊大 豊氏



### ■福花園種苗株式会社

設立／昭和28年(1953)9月11日  
創業／大正6年(1917)12月1日  
代表者／取締役社長 吉田 豊  
本社所在地／名古屋市中区松原2-9-29  
事業内容／花き種苗の生産販売及び  
その関連事業

取材日時／令和元年8月27日(火)  
10:30~11:30

取材場所／福花園種苗(株) 本社  
聞き手／森田 文二・岩田 加津子・  
加藤 育美・鶴岡 一美



——創業100年を超える福花園の歩みを教えてください。

【豊】大正7年(1917)創業です。先々代は、専正池坊の家老職として華道を教えており、生ける為の花を、花の産地である南陽町の住民に依頼して花を育ててもらったことが始まりです。

戦時中は、満州に暮らす日本人に葉牡丹が非常に評判が良く、下関にも出張所をつくり輸出で業績を伸ばしました。

戦後は、海外で発掘したカサブランカなど日本で初めて販売、盆栽をヨーロッパで展開、品種改良を進めるなどして花一筋で現在までやって参りました。

## 上信越国立公園のなかに農場

——西軽井沢に農場があるそうですね。特色、概要を教えてください。

【豊】1988年に建てた標高が1,061m準高冷地の試験農場です。日射量が多く、雨量が少ないエリアで景色のいい所です。育苗や品種改良、育種に取り組んでいます。

平成8年から、西軽井沢で全国の生産者を集めた勉強会や展示会を始め、そこでの情報交換が、うちの財産になっています。

——西軽井沢に農場を造るきっかけは？

【豊】先代の考えです。当初はカーネーション生産が目的でした。バブル崩壊、輸入による競争の激化(現在国内流通の8割が海外産)で撤退しましたが、現在は立地を活かした商品作りをして運営しています。



——アルストロメリアは先代（2代目社長）の俊雄氏が日本に紹介してブームの火付け役になったそうですね。

【豊】原産は南米です。いろいろな系統があって、園芸種でハイブリッドに交配されたものを使っています。

昭和30年代はオランダの園芸の勃興期で、世界の園芸の情報が全部オランダに集まっていたときです。先代は世界中を駆け巡り新種の開発、輸出入に力を入れていました。たまたま訪れた会社にアルストロメリアが飾ってあり、気に入って日本で売りたいと申し出ました。ロイヤリティーという感覚がまだなくて、分厚い契約書を交わした記憶があります。その頃は1反1千万円払わないと権利がもらえなくて、とんでもない価格でした。その代わりにパテントの管理もして、違法に育てた人の花は渥美半島の浜でガソリンをかけて燃やしました。そのくらい管理をきちんとなしと海外から信用されないということで、かなり厳しいやり方をしていたお陰で、現在があると思っています。

## 育種で残るものが良いもの

——<sup>しゅびょう</sup>種苗の品種改良について、難しいところと面白さなどを教えてください。

【豊】昔の品種改良は5本選抜といって、いい花があると種取りをして有用なところだけを利用していましたが、い

まは遺伝子組み換えや解析で改良しています。新品種の特長は、花の色・形が重要視されます。「神のみが知る」と運に任せて良いものを選んでいきます。

できるだけ純系と称して植物体の本来もっている良いものを選んでいくのですが、同じ系列でやると弱くなります。育種するとき重要なことは、増殖する能力です。生殖能力がないものは次に繋がっていきません。

生命が生まれて5億年の間に動物や植物は変化してきましたが、良いもの・強いものが残っていくという考え方が、育種のメインだと私は思っています。劣化していくのは生殖能力がないから滅び行くのです。いまゲノム編集を農水省が勧めています、なかなか狙っているものができるわけではないので苦労しています。

花の評価は難しいところがあって、例えば真っ赤なバラのなかに貧弱な白いバラが1本あると、その白いバラに希少価値があると評価されます。また需要と供給のバランスがとれているときはいいのですが、1割供給が多くなると価格が半分になってしまいます。最近は、輸入の冷蔵技術が上がり、国内の価格が高くなると輸入して安いものが入ってきてしまうので、業界が混乱しています。

